

2025年12月25日

各 位

株式会社北洋銀行

株式会社第一自動車学校様と 「サステナブル経営支援ローン」の契約を締結しました

北洋銀行(取締役頭取 津山 博恒)は、株式会社第一自動車学校様(代表取締役 内木 真紀衣様)と、「サステナブル経営支援ローン」(以下、本ローン)の契約を締結しました。

本ローンは、北洋銀行が提供するSDGs コンサルティングや、お客さまとの対話を通じて設定された重要課題のうち、環境・社会・経済に好影響を与えるもの、もしくは悪影響を抑制し得るものと「サステナビリティ目標」と定義し、その有意義性について第三者からセカンドオピニオン※を取得する融資商品です。

株式会社第一自動車学校様では、重要課題を「自動車事故のない社会への貢献」と設定し、持続可能な社会の実現と自社の企業価値向上の両立に取り組んでいます。

当行は今後も、ほくようサステナブルファイナンス等を通じ、北海道を営業基盤とする金融機関として環境・社会問題に前向きに取り組むお客さまを支援してまいります。

※ 株式会社北海道共創パートナーズによるセカンドオピニオンは別紙をご参照ください。

記

【株式会社第一自動車学校様の概要】

所 在 地	帯広市稻田町東1線12番地
代 表 者	内木 真紀衣様
事 業 概 要	指定自動車教習所の運営による自動車の運転及び知識に関する教育 (学校名 : ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校)

【契約記念の様子】



右:株式会社第一自動車学校
代表取締役 内木 真紀衣様

左:北洋銀行帯広中央支店
執行役員支店長 背戸田 能章

以 上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。



株式会社第一自動車学校 ほくようサステナブルローン サステナブル経営支援ローン

株式会社北海道共創パートナーズ
コンサルティング事業部

本セカンドオピニオンは、株式会社第一自動車学校（以下、「ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校」または「当校」という）が北洋銀行の融資商品「サステナブル経営支援ローン（以下、本ローン）」を利用するにあたり、株式会社北海道共創パートナーズ（以下、「HKP」）が第三者の立場から発行するものである。

本ローンは、お客様のSDGs経営とサステナビリティ目標に対し、第三者からの評価を取得し、融資実行後においても北洋銀行との継続的な対話等を通じ、企業の持続性の向上を支援する商品である。

1. 企業概要

(1) 基本情報

企 業 名	株式会社第一自動車学校	
（学 校 名）	（ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校）	
代 表 者 名	内木 真紀衣	
本社所在地	帯広市稻田町東1線12番地	
資 本 金	25百万円	
従 業 員	40名（2025年12月現在）	
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">自動車の運転及び知識に関する教育交通安全に関する教育前各号に付帯する一切の業務	
関 連 会 社	<ul style="list-style-type: none">帯広ガス株式会社帯ガス燃料株式会社株式会社幕別自動車学校FM WING 76.1MHz株式会社時事タイムズ放送社第一リース株式会社株式会社帯ガスサービス	
沿 革	1964年	帯広市稻田町東2線で帯広第一自動車学校開校。
	1965年	北海道公安委員会より大型自動車・普通自動車の指定を受ける。
	1968年	北海道公安委員会より大型特殊自動車の指定を受ける。
	1970年	北海道公安委員会よりけん引自動車の指定を受ける。
	1980年	卒業生累計50,000人を突破。
	1981年	現在の帯広市稻田町東1線12番地に移転。
	1990年	北海道公安委員会より初心運転者講習の委託を受ける。
	1996年	卒業生累計100,000人を突破。

	1996 年	北海道公安委員会より初心運転者講習(大型二輪)の委託を受ける。
	2004 年	北海道公安委員会より取消処分者講習の委託を受ける。
	2007 年	北海道公安委員会より高齢者講習の委託を受ける。
	2009 年	北海道公安委員会より中型自動車一種の指定を受ける。
	2019 年	北海道公安委員会より原付講習の委託を受ける。
	2023 年	ドローン教室を開校。
	2024 年	「SDGs 宣言」を発表。 北海道初「ほめちぎる教習所」認定

(2) コンセプト



出所：ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校提供

ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校は、人は認められて成長するという考え方のもと、「ほめて伸ばす」というコンセプトで自動車教習を行っている。2023 年に始まった「ほめて伸ばす」自動車教習は、2024 年 6 月に厳しい条件を達成し「ほめちぎる教習所」として第三者(ほめちぎる教習所グループ)より認定を受けるに至った。これにより教習生の良い点や努力を積極的に認め、言葉で肯定的に伝えることで成長を促す教育スタイルを確立している。

(3) 事業概要

① 事業内容

ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校は、北海道帯広市に拠点を置く自動車学校である。自動車学校(指定自動車教習所)は、道路交通法などの関連法規に基づき設置・運営され、公安委員会による指定を受けることで、卒業生に対し運転免許試験の技能試験が免除されるなど公的な役割を担う。日本国内では少子化や都市部への人口集中を背景に、地域の自動車学校の教習生数は長期的に減少傾向にある。しかし、地域の交通安全教育や高齢者講習、企業向け安全運転研修など、多様な需要に対応する機関として自動車学校の機能は拡大している。特に北海道の多くの地域では、公共交通の利便性が限定的であるため、自動車への依存度が高く、地域住民の移

動手段確保に不可欠な免許取得ニーズが一定水準で存在する。さらに、農業・観光・物流など車両運転を伴う産業も多いため、技能人材の育成拠点として自動車学校の役割は依然として大きい。当校では、普通自動車に加え、自動二輪車や大型特殊など多様な免許取得に対応し、地域のニーズに応えている。

■ ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校で取得できる運転免許

普通自動車	準中型	中型	大型特殊
			
けん引	普通・小型二輪	大型自動二輪	
			 Daiichi Driving School

出所：ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校提供

ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校では、免許取得のための教習にとどまらず、道路交通法に基づく各種講習(高齢者講習、初心運転者講習、違反運転者講習等)や、企業や自治体向けの安全運転講習、ペーパードライバー向け講習など、幅広い教育活動を展開している。これらの講習は単に運転技術を再習得させる場ではなく、交通事故防止や安全意識の向上といった社会的使命を果たすものであり、「地域の交通安全センター」として地域の交通安全文化の定着に寄与している。こういった当校の事業活動は、労働災害や交通リスクの低減につながり、地域経済の安全基盤を支えている。

■ ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校が行う各種講習一覧

講習名	概要
高齢者講習	免許更新時に運転技能や認知機能を確認し、安全運転を支援する講習。
原付講習	原付免許取得者に対し、安全運転の基本操作と交通ルールを実践的に指導する講習。
初心運転者講習	違反・事故歴のある新免許保持者に再教育を行い、安全意識を再構築する講習。
取消処分講習	免許取消者が再取得前に交通法令・運転マナーを学び直す再教育講習。
小・中・高生向け交通安全教室	学校と連携し、年齢に応じた交通安全の知識・行動習慣を育くむ出張講習。
企業向け交通安全講習	事業用車両運転者に安全運転とリスク管理を教育し、事故防止を図る講習。
65歳以上の安全運転検診	高齢運転者の運転特性を専門指導員が診断し、改善点や安全運転の助言を実施する。

② 事業活動の特徴 「ほめちぎる教習所」

ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校では、教習生の良い点や努力を積極的に認め、言葉で肯定的に伝える「ほめちぎる教習所」認定プログラムを導入している。このほめて伸ばす教育は、失敗しても何でもほめたり、甘やかしたり、お世辞を言うものではなく、努力を認め教習生の心理的安全性と自信を高めることで、免許取得過程における不安や緊張を軽減し、技術習得を効率化する取り組みである。

■ 2024年6月 ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校の「ほめちぎる教習所」認定式の様子



出所：ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校提供

当校では「ほめちぎる教習所」としての認定後も、この取り組みを深化させるため、「ほめちぎる委員会」を組織し運営している。ほめちぎる委員会は、教習の質を高める「教習チーム」と、教習生との関係性を構築するためイベント企画等を担う「ほめる文化チーム」の2チームに分かれ活動を実施している。

教習チームでは、カメラによる教習内容の記録、振り返り、フィードバックなどを通した教習指導員のスキルアップや、教習生をほめるボキャブラリーを鍛える「ほめシャワー」の実施、コミュニケーションと馴れ馴れしさの線引きを厳格に行うためのマナー検定など、さまざまな活動を通して研鑽を続けている。

一方、ほめる文化チームでは、教習所の職員と教習生との関係構築に向けた多様なイベントを企画。これまでに七夕やハロウィーン、教習生と指導員が笑顔度を競う「スマイルファイト」などを開催してきた。数週間から数か月という限られた教習期間中での教習生との関係性や思い出作りは、教習生の精神的な安心感を醸成し積極的な教習への参加を促すほか、後述する「運転する責任」「命の大切さ」教育にもつながっている。

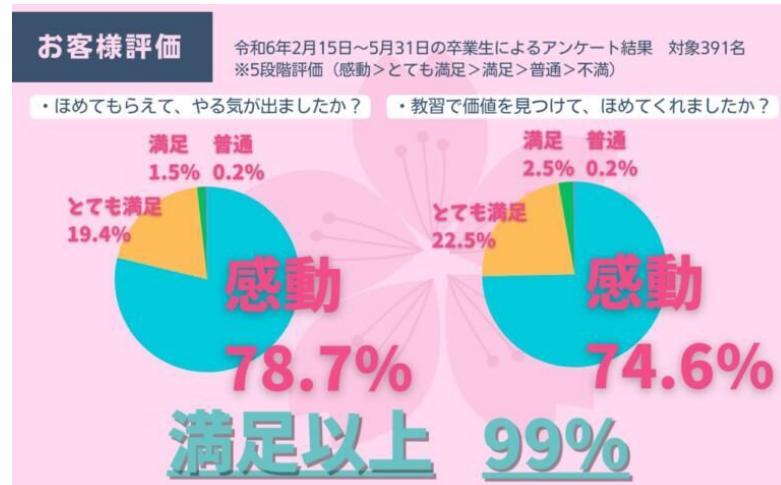
■ 「ほめちぎる委員会」による各種イベントの様子



出所：ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校提供

■ 「ほめちぎる教習所」としての活動を最大の特徴とする当校だが、永遠の安全を約束する安全運転者の育成において最も大切なことは、「心から思いやりがあり、気配りができる心を育てる共感運転」と捉えて、命の大切さを教育している。この考えのもと、当校では、「ほめちぎる教習」に加え、運転する責任を教育するための「心の教育プログラム」を取り入れている。入校から教習、修了検定、卒業検定を経て「感動の卒業式」を迎えるまでの短い期間に、職員と共に取り組む「心の教育プログラム」を随所に盛り込むことで、安全運転者としての大切な要素である心のブレーキを養っている。これらのユニークな教育方法により当校は地域の幅広い世代が安心して通える学びの場として、「ほめる文化」を地域社会に広げる役割を果たしており、地域における人財育成・交通安全教育の新たなモデルとなっている。

■ ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校のアンケート集計



ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校の「ほめちぎる」教育を踏まえたアンケート結果。

出所：ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校提供

(4) サステナビリティ方針と活動

① サステナビリティ方針

ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校では「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同するとともに、事業活動を通じて SDGs の達成に貢献するため「SDGs 宣言」を策定している。この宣言では「全ての人に安全で安心な交通社会をつくる」「誰もが働きやすい職場づくり」「未来につなげる環境保全」「信頼される企業でありつづけるために」の 4 つのテーマを設け、環境・社会・経済に好影響を与える様々な活動を行っている。また、この宣言の実効性を高めるため、「SDGs委員会」を組織するとともに、定期的に社内で SDGs に関する勉強会を実施し、社員一丸となって、持続可能な企業経営の意識醸成を図っている。

■ 株式会社第一自動車学校 SDGs 宣言



株式会社 第一自動車学校 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

2022年10月18日
株式会社 第一自動車学校
代表取締役社長 内木 真紀衣

SDGsの達成に向けた取組

全ての人に安全で安心な交通社会をつくる

みなさまの未来を守るために、指導員全員が日々研鑽を怠らず、常にわかりやすい教習をめざし、個々に応じた教習や効率工夫した教習に努めると共に、より安全な運転行動をとれるドライバーとなるようサポートします。

【具体的な取り組み】

- ・新幹線内に設けた教習の待機（初心運転者教育、ペーパードライバー講習、実習者講習、社業講習）
- ・新規免許申請や既存のID運転による語学検査の充実
- ・地域に事故ゼロ活動や中高生の安全運転教室の実施、ボランティア活動
- ・新規教習指導員の養成

誰もが働きやすい職場づくり

国籍・性別・年齢等差別せず、一人一人が力を発揮できるような職場環境づくりを行っています。引き続き従業員の働きやすさを向上させ、会社の持続的な成長を目指します。

【具体的な取り組み】

- ・60歳以上の雇用延長制度導入
- ・育休・育児支援制度の導入
- ・資格取得奨励制度の実施
- ・ライフスタイルに応じた働き方の提供（併用休暇制度など）
- ・技術向上に向けた研修会の実施

未来につなげる環境保全

従業員一人一人が、CO₂削減に向けた自発的取り組みや電気自動車導入、再生可能エネルギーの利用等、できることをコツコツと積み重ね、環境問題に真摯に向き合い、自然と人との共生をを目指します。

【具体的な取り組み】

- ・LPG導入によるCO₂削減
- ・省エネ装置機器の導入
- ・資源需要物の削減、リサイクルの徹底
- ・アイドリングストップの実行

信頼される企業でありつづけるために

指定自動車教習所として、法令遵守や高い倫理観をもって健全な企業経営を実現し、企業として社会的責任を果たします。また、地域への貢献を忘れずに、地域の皆様のドライビングライフを支え続け、信頼される・愛される会社を目指します。

【具体的な取り組み】

- ・法令遵守の徹底
- ・個人情報保護や改正時の研修会の実施
- ・コンプライアンス、リスクマネジメント委員会の設置
- ・ドライバーポジションの制定・開示
- ・最新テクノロジーを活用した地域活性化への取組（QRコードスクールの開設など）

SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。

出所：ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校提供

② サステナビリティ活動

■ 報酬・福利厚生

ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校は、報酬と福利厚生の充実を通じて職員の働きがいを支援している。職員の報酬については、近年の物価動向や採用競争力の向上、職員定着の強化を考慮し、積極的に上昇させており、2024 年度には平均で前年比 4.5% のベースアップを実施した。総務省が発表した同年の消費者物価指数(総合指数)が 2.7% である中、当校のベースアップ水準は意欲的な内容と言える。さらに、中退共の活用で退職金制度も運用しており、職員の将来的な資産形成も支援している。

その他、各種福利厚生も整備している。例えば、マイナス 30°C を下回る日もある十勝の厳冬期の燃料費をサポートするために燃料手当の支給を行っている。また、職員を被保険者とした三大疾病(がん・心疾患・脳血管疾患)の医療保険にも加入しており、病気により入院・手術等の治療が必要になった際の治療費を軽減できるようになっている。加えて、民間の総合福利厚生サービスを活用し、全国各地のグルメ・レジャー施設等の優遇や動画配信サービスの視聴、自己啓発のための e ラーニングなど、幅広い福利厚生サービスを受けられる体制が整っている。

■ スキルアップ支援

ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校では、職員のスキルアップを積極的に支援している。当校では、教習指導員に必要な「指定自動車教習所指導員」などの資格取得をサポートするため、受験費用や試験に向けた講習費用を全て会社で負担している。また、「ほめちぎる教習所」としてのスキルアップのため、教習内容の記録、振り返り、フィードバックや、「ほめシャワー」の実施、マナー検定などを行い継続的な研鑽を行っている。今後は更なるスキルアップを目指す職員へインセンティブを与えるため、「ほめ達(ほめる達人)手当」の支給も検討している。

■ 地域社会との共生

ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校では「SDGs 委員会」が主体となり、さまざまな CSR 活動を実施している。事業内容を活かした活動として、地域の小・中・高等学校にて交通安全教室を定期的に開催している。交通安全教室では巻き込み事故防止のための内輪差に関する教育や、自転車運転時におけるヘルメット着用の努力義務化、イヤホン装着に関する規制など近時の法改正を指導し、地域の交通安全意識を高めている。その他、教習所周辺の清掃活動や、帯広畜産大学のサークル「かしわの虹ハウス」を招いた SOGI(性的指向と性自認)への理解に関する勉強会など、多様な活動を行っている。

・ 勉強会や CSR 活動の様子



出所：ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校提供

Copyright © 2025 Hokkaido Kyoso Partners Co., Ltd. All rights reserved.

3. サステナビリティ目標の設定

本ローンの取り組みにあたり、以下の重要課題と、その達成に向けたサステナビリティ目標・KGI(重要目標達成指標)、サステナビリティ目標・KPI(重要業績評価指標)を設定した。

(1) サステナビリティ目標の設定

重 要 課 題	自動車事故のない社会への貢献
取 組 内 容	「ほめちぎる」教育を通して、利用者の心理的負担の軽減や主体的な学習意識醸成を図り、運転技能のみならず「安全で責任ある運転者」を育成する。
サステナビリティ目標	ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校を卒業した初心運転者の人身交通事故を0%にする。 (2021年から2023年の3年間の事故率0.18%)
K G I	A) 2027年までにGoogle 口コミ4.9以上とする。 (2025年11月時点 4.8点) B) 2027年までにお客様満足度95%以上とする。 (2025年11月時点 92%) C) 2027年までに感動率50%以上とする。 (2025年11月時点 34%)
貢 献 す る S D G s	

(2) サステナビリティ目標の有意義性

本ローンの組成にあたり、ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校は、「自動車事故のない社会への貢献」の重要課題のもと、上記の KGI・KPI を設定した。以下、当校が推進する KGI・KPI の有意義性を見ていく。

① 重要課題「自動車事故のない社会への貢献」

KGI: ほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校を卒業した初心運転者の3年内の人身交通事故を0%にする。

- KPI:
- A) 2027年までにGoogle 口コミ4.9以上とする。
 - B) 2027年までにお客様満足度95%以上とする。
 - C) 2027年までに感動率50%以上とする。

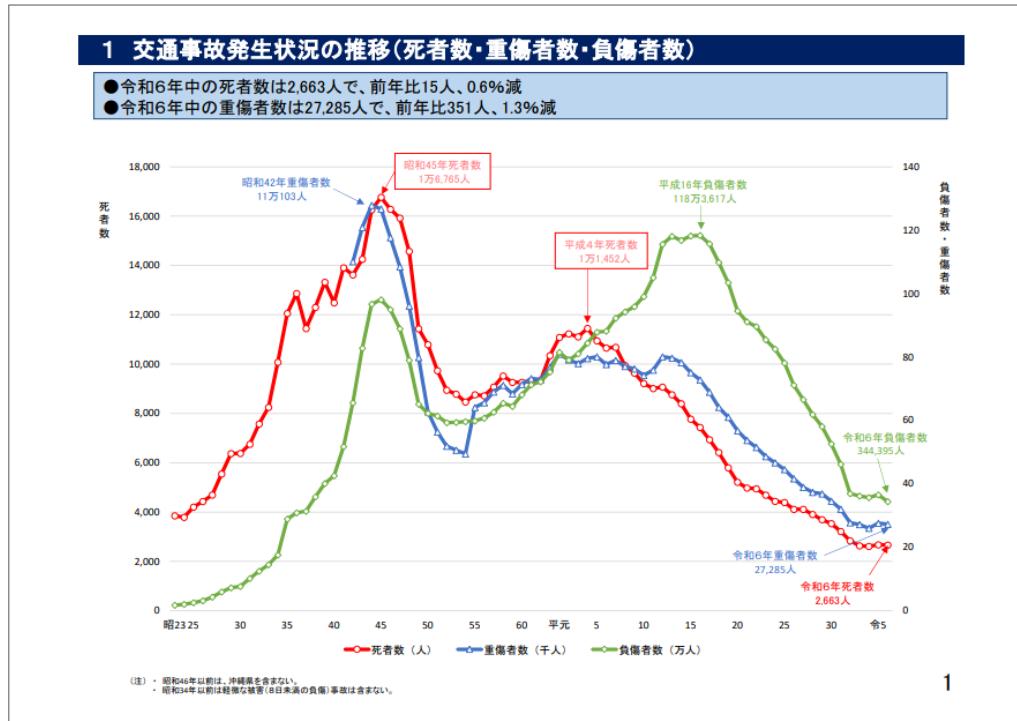
自動車学校の社会的意義は、運転技術を教え運転免許取得をサポートするだけでなく、「安全で責任ある運転者」を育成することにある。すなわち、交通事故防止のための知識や技能を教えることは勿論、安全運転に対する意識や責任感を高める機会を提供していくことも非常に重要であり、それが地域社会における交通安全の推進に寄与すると考えられる。

日本全国の交通事故発生件数は、長期的には着実に改善が進んでいるが、2024年において人身事故による負傷者数は約34万人、死者数は2,600人台となっている。北海道でも同様に長期的な改善が進んでいるが、広大な地形や冬期の気象条件、高齢化の進行など、地域特有のリスク要因が存在し、2024年の人身事故による負傷者数は約1万人、死者数は104人に上っている。

こうした中で、交通事故の撲滅に向けた取組は社会全体の持続可能性に直結する課題であり、

地域と共に安全文化を育む事業活動を通して事故ゼロ社会を実現することが、自動車学校を営むほめちぎる教習所 帯広第一自動車学校の最終達成目標である。

■ 日本国内の交通事故発生状況の推移



日本国内の交通事故は着実に減少しているが、現在も交通事故による死者数は年間で2,600人を超える。

出所：警察庁「交通事故発生状況」より抜粋

当校は、地域社会の安全・安心の実現に寄与する取り組みとして「ほめちぎる教習所」認定プログラムを導入している。本オピニオンで既に述べてきた通り、これは単なる甘やかしではなく、教習生の良い行動を的確に認め、自己肯定感と学習意欲を高める教育手法である。教官は全員が専門研修を受け、心理的安全性の高い学習環境を構築している。こうした教育手法・環境下で教習生がより満足度の高い状態にて学ぶことが、運転技能の向上や安全運転意識の醸成に最も効果的であると考えられる。

結果として、教習生の技能定着率や卒業後の安全運転意識が向上しており、当校卒業生の初心運転者事故率は2023年で0.26%と低水準を実現している。これは同規模の教習所(2023年の普通免許取得の卒業者が750人～1,000人の道内8校)の中で、1位の水準にある。

この効果は単なる相関ではなく、教習生の行動変容に基づく因果的成果として評価される。

設定したKGIは重要課題「自動車事故のない社会の実現」へ向けて当校が目指すべき目標である。そして、設定したKPIは「安全で責任ある運転者」を教育していくためのアプローチとして当校が推進する「ほめちぎる教習」、「心の教育プログラム」がどれだけ教習生に浸透し支持されたかを測る指標として捉えることができ、KGIの達成にも結び付くものである。以上から、KGI・KPIは有意義である。

株式会社北海道共創パートナーズ 会社概要

名 称	株式会社北海道共創パートナーズ
本社所在地	〒060-0042 札幌市中央区大通西 3 丁目 7 番地 北洋大通センター13 階 代表 TEL : 011-596-7814
資 本 金	4,950 万円
株 主	株式会社北洋銀行
代 表 者	代表取締役社長 岩崎 俊一郎
事 業 内 容	①経営に関する問題点の調査・分析、改善案の企画・立案 ②企業戦略の立案、システムの構築および事業承継およびM & Aに関する支援 ③人材育成のための研修業務 ④有料職業紹介事業（許可番号 01 ュ-300467） ⑤投資事業組合財産の運用及び管理 ⑥株式、社債又は持分その有価証券に対する投資業務 ⑦前各号に付帯関連するコンサルティング業務 ⑧前各号に付帯関連する一切の業務
沿 革	2015 年 8 月 株式会社日本人材機構 設立 2017 年 9 月 株式会社日本人材機構と株式会社北洋銀行の共同出資により 株式会社北海道共創パートナーズ設立 コンサルティング事業とプロフェッショナル人材のシェアリング 事業を開始 2018 年 10 月 有料職業紹介事業の許可を取得し、人材紹介事業に参入 2020 年 4 月 株式会社北洋銀行が株式会社日本人材機構の保有する株式を 取得し、100%子会社化 株式会社北洋銀行から M&A 事業を移管 2023 年 4 月 経営コンサルティング事業の中の補助金コンサルティングを 補助金事業部として事業部化

留意事項

本文書は、貸付人が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人のSDGs経営とサステナビリティ目標の有意義性に対する第三者意見を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

HKPは当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任は負わないものとします。

本文書に関する一切の権利はHKPに帰属します。HKPの事前の許諾無く、本文書の全部または一部を自己使用の目的を超えて使用すること（複製、改変、翻案、頒布等を含みます）は禁止されています。

【独立性】

HKPは、北洋銀行グループに属しており、北洋銀行および北洋銀行グループ企業との間および北洋銀行グループのお客さま相互の間における利益相反のおそれのある取引等に関して、法令等に従い、お客さまの利益が不当に害されることのないように、適切に業務を遂行いたします。

また、本文書にかかる調査、分析、コンサルティング業務は北洋銀行とは独立して行われるものであり、北洋銀行からの融資に関する助言を構成するものでも、資金調達を保証するものでもありません。

【第三者性】

借入人とHKPとの間に利益相反が生じると考えられる資本関係及び人的関係などの特別な利害関係はありません。